

# 障害者の学びの場づくりフォーラム in 東海・北陸

2014年(平成26年)の障害者権利条約の批准等を踏まえ、誰もが障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会の実現、地域における障害者の生涯を通じた学びの場の整備を目指し、東海・北陸地域における関係者が交流・対話・学習するフォーラムです。

**目 標** ①障害理解の促進、②実践者同士の学び合い、③文化・スポーツ・学びの場の充実

**対 象** 学びの支援者・関係者、障害者の学びに関心のある人、都道府県・市町村職員（障害者学習支援担当、生涯学習、教育、スポーツ、文化・芸術、福祉、労働等）、社会教育主事、公民館・図書館・博物館職員、特別支援学校等教職員、教職員経験者、障害者の学習支援実践者（NPO、社会福祉法人等）、大学関係者、福祉サービス事業所職員、社会福祉協議会職員等

## 記念講演 河合 純一 氏 「パラリンピックと共生社会」



### 【河合純一氏 プロフィール】

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会会長／全盲の元競泳選手

- ・6大会連続出場を果たしたパラリンピアン
- ・メダル獲得数は日本人最多の21個(金5個 銀9個 銅7個)

文部科学省スペシャルサポート大使として共生社会実現に向けた啓発活動に取り組む

コンファレンス開催日午後、同会場にてNPO法人学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会による「生涯学習セミナー」を開催します。障害者本人たちが、河合純一さんを囲むプログラムを予定しています。参加希望者は右記事務局までお問い合わせください。

<b>日 時</b>	2019年12月1日(日) 10:00～17:00 ※9:30～開場。プログラム全体の詳細は裏面参照
<b>場 所</b>	愛知みずほ短期大学(名古屋市瑞穂区春敲町2-13) ※名鉄「神宮前駅」から徒歩10分。会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
<b>参加費</b>	無料
<b>定 員</b>	200名(先着順・定員に達し次第締め切ります)
<b>申 込 方 法</b>	別紙「参加申込様式」にて11月11日(月)までに 下記事務局にお申し込みください。 ※参加申込様式がお手元がない場合は「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」特設WEBサイトからダウンロードして使用してください。 <a href="https://www.kyoseishakai-conference.com/">https://www.kyoseishakai-conference.com/</a>

### 事務局・問い合わせ先

### NPO法人学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会

電話：052-355-6752 F A X：052-355-6753 メール：daigaku@miharashidai.com

◆主催：NPO法人学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会 / 文部科学省

◆協力：全国障がい者生涯学習支援研究会 / 愛知特別支援教育研究会 / 愛知みずほ短期大学

◆後援：富山県・富山県教育委員会・富山県社会福祉協議会 / 石川県・石川県教育委員会・石川県社会福祉協議会 / 福井県・福井県教育委員会・福井県社会福祉協議会  
岐阜県・岐阜県教育委員会・岐阜県社会福祉協議会 / 静岡県・静岡県教育委員会・静岡県社会福祉協議会 / 愛知県・愛知県教育委員会・愛知県社会福祉協議会  
三重県・三重県教育委員会・三重県社会福祉協議会 / 静岡市・静岡市教育委員会・静岡市社会福祉協議会 / 浜松市・浜松市教育委員会・浜松市社会福祉協議会  
名古屋市・名古屋市教育委員会・名古屋市社会福祉協議会 ※申請中を含む。

# 2019年12月1日(日) プログラム

障害者の学びの場づくりフォーラム in 東海・北陸

- 10:00~10:15 挨拶 実行委員長 山本 理絵 (愛知県立大学教授・教育福祉学部長)  
愛知みずほ短期大学学長 大塚 知津子 (学校法人瀬木学園理事長)
- 10:15~10:30 行政説明 「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」 小林 美保 (文部科学省・障害者学習支援推進室長)
- 10:30~11:20 記念講演 「パラリンピックと共生社会」 河合 純一 (パラリンピアン・文部科学省スペシャルサポート大使)
- 11:20~11:50 文化公演 「みんなで歌おう」 マリアボーイズ&ガールズ (特別支援学校聖母の家学園在校生・OBOG)
- 11:50~12:50 <昼食・休憩>
- 12:50~15:50 分科会 (事例報告とグループワーク) \*分科会毎に会場が分かれます

## A. 共に楽しく学び合う障害者青年学級---<共同研究者> 小林 繁 (明治大学教授) ・松田 泰幸 (町田市職員)

- 事例報告① **和歌山・那賀青年学級29年間の取り組み** (小畑 耕作)  
// ② **名古屋市教育委員会・委託青年学級** (河合 賢治)  
// ③ **国分寺市青年学級** (春口 明朗)

## B. 学校から社会への移行期の学び---<共同研究者> 辻 浩 (名古屋大学教授) ・澤谷 常清 (三愛学舎元校長)

- 事例報告① **三重・私立特別支援学校聖母の家学園** (辻 正)  
// ② **奈良市・一般社団法人みやこいち福祉会** (阪東 俊忠)  
// ③ **岸和田市・社会福祉法人いずみの福祉会** (清時 忠吉)

## C. 当事者・保護者も共に育ち合う---<共同研究者> 湯浅 恭正 (中部大学教授) ・池谷 尚剛 (岐阜大学教授)

- 事例報告① **福岡市手をつなぐ育成会保護者会** (下山 いわ子)  
// ② **社会福祉法人名古屋ライトハウス** (仁藤 玄)  
// ③ **あいちLD親の会かたつむり** (牛丸 基樹)

## D. 行政と民間の絆で---<共同研究者> 津田 英二 (神戸大学教授) ・高橋 正教 (元至学館大学教授)

- 事例報告① **秋田県教育委員会** (中山 恭幸)  
// ② **広島市・NPO法人エス・アイ・エヌ** (草羽 俊之)  
// ③ **東京・喫茶コーナーの取り組み** (兼松 忠雄)

## E. インクルーシブな大学づくり---<共同研究者> 平井 威 (明星大学客員教授) ・杉山 章 (東海学院大学准教授)

- 事例報告① **国立大学法人島根大学** (京 俊輔)  
// ② **国立大学法人静岡大学** (山元 薫)  
// ③ **NPO法人見晴台学園大学校** (大竹 みちよ)

15:50~16:10 <休憩>

16:10~17:00 **まとめ** <共同研究者> 櫻井 康宏 (福井大学名誉教授)